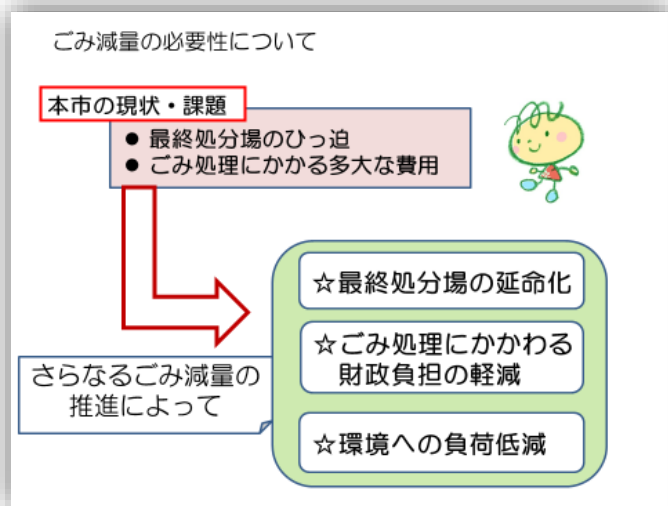


演題：静岡市の廃棄物行政

静岡市環境局ごみ減量推進課

場所：しずもーる沼上 3F 研修室

時間：10：45～12：00



静岡市の取り組み

～自治体の取り組みに参加して機運を盛り上げよう～

30・10運動

宴会の始めの30分と最後の10分は、自席に座って料理を楽しもうという運動。食べ残しが多い宴会での食品ロスを減らそうと長野県の松本市で始まった。

冬のおいしいもの食べきりキャンペーン

忘新年会の時期に、市内大型商業施設で開催したキャンペーン。各飲食店が食品ロス削減に取り組み、またお客様も食べきりに協力する内容。2019年度も実施予定。

講義のポイント

要点1：静岡市のごみ排出状況

- 静岡市の一人1日あたりのごみ総排出量は減少傾向だが、全国平均をやや上回る
- 家庭系可燃ごみのうち、約4割が生ごみ、約2割が紙類

要点2：ごみ減量の必要性

- 最終処分場の延命化、ごみ処理に関わる財政負担の軽減、環境への負荷軽減

要点3：静岡市におけるごみ減量の取り組み

- 4Rの推進（4R…Refuse（断る）、Reduce（減らす）、Reuse（再使用する）、Recycle（再生利用する））
- 食品ロスの削減に向けた周知啓発（30・10運動の推進など）

受講生の感想

- ◆ 静岡市のごみの政策について詳しく知れて良かった。
- ◆ 最終処分場の延命化、ごみ処理にかかわる財政負担の軽減、環境への負荷低減などごみ減量をする明確な理由を学ぶことができたので今後ごみ減量を心がけたいと感じました。環境大学で学んだことを今後も身近な人達に伝えていきたいと感じました。まずは自分の意識行動から変えていかなくてはならないと感じました。